

早稲田応用化学会中部支部 2017年度活動報告

目 標：一層の会員相互の親睦と情報交換

1. 交流会の活性化（目標参加者 30人/回）

- 「交流会」2回/年の開催継続。

域外を含む種々のジャンルからのプレゼンター招聘。

10/14 早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構特任研究教授・名誉機構長 逢坂哲彌氏
「最近のエネルギー・蓄電池の話題～自動車EV化に伴って」 26名

4/14 東北大学名誉教授 有山達郎氏
「鉄の生い立ちと歴史との関わり、そしてこれからの鉄鋼業の将来」 21名

- 若手現役会員への参加勧誘強化継続。

支部役員による現役会員及び新規卒業生への交流会PRと参加の勧誘。

トヨタ自動車他の逢坂研卒業生OBの勧誘 初参加者9名

メールアドレスの新規登録依頼努力の継続。 5名に依頼、1名登録

- 新規活動の模索

他大学・学部での会費実情等のヒアリング調査 13大学を調査

基盤委員会中部支部メンバー 上宮理事担当

2. 支部役員

- 2018/4/1付

新村多加也 理事退任（東京へ転出）

牧野 兼久 顧問退任

谷口 至 理事就任

三島支部長以下現役員の再任

3. 運営経費実績 210.27 千円（2.23千円対予算） 繰越金0.67千円

2018年活動計画

目 標：一層の会員相互の親睦と情報交換

1. 交流会の活性化（目標参加者30人/回）。

- 「交流会」2回/年の開催継続。
域外を含む種々のジャンルからのプレゼンターおよび現役教授の招聘。
- 若手現役会員への参加勧誘強化継続。
昨年度参加した若手会員へのフォローを継続。
支部役員による現役会員及び新規卒業生への支部活動のPR継続。
メールアドレスの新規登録依頼。
- 新規活動の模索

2. 活動計画

- 定期役員会 4回/年
- 交流会 2回/年 期中、期末
- 定期総会 期末
- 早桜会との交流 期末

3. 予算案 237.0千円で申請（2017年度期末剰余金見込み0.67円）

4. 会費納入のPR

- 支部活動の中で地道な広報活動の継続。